

古代の京都と 渡来人 — 秦氏を中心に —

古代の京都における外来文化の吸収と展開にとって、渡来人は大きな要素をしめます。たとえば、稲荷神社(伏見稲荷大社)や松尾神社(松尾大社)は、秦氏という朝鮮半島からの渡来人が創建したものです。意外と一般には知られていない歴史事象で、神社や神道といえど多くの市民は日本固有な文化ととらえるのですが、広い国際的背景をもつものであることを基軸に構成し、パネルディスカッションでもって京都の渡来人である秦氏とその周辺の歴史・文化を国際的視野から解明していきます。

日時

2010年3月14日(日)

13:30~17:20(開場12:30)

会場

メルパルクKYOTO
5F 会議室A

(京都駅前東側)

聴講無料

定員350名

申込方法

郵便往復ハガキに、住所・氏名・電話・参加希望人数(全員の氏名)を明記し、下記申込先までお送りください。応募者多数の場合は抽選し、応募者の皆様全員に結果をご連絡いたします。

※お預かりした個人情報は、聴講券の発送以外の目的では使用いたしません。

【締切】2月25日(木)必着

申込先/問合せ先

〒603-8555

京都市北区上賀茂本山 京都産業大学 総合研究事務局

TEL: 075-705-1468

HP: <http://www.kyoto-su.ac.jp/>

■基調講演

『秦氏の活躍と秦氏の神々』

上田 正昭氏

(京大名誉教授・アジア史学会会長)



■報告

『新羅國家形成期の優由國と秦氏』

延 敏洙氏

(東北亜歴史財団研究委員)



『秦氏：中国、朝鮮、日本』

韓 昇氏

(復旦大学歴史系・文史研究院・日本研究センター教授)



『秦氏と秦河勝をめぐる』

井上 満郎

(京都産業大学文化学部教授、日本文化研究所兼務所員)



■パネルディスカッション

【パネラー】上田 正昭氏・延 敏洙氏・韓 昇氏

近藤 浩一氏(京都産業大学非常勤講師)・井上 満郎

【コーディネーター】森 博達(京都産業大学日本文化研究所長)



POWER UNIV. 

京都産業大学

後援：京都市教育委員会